

四国圏広域地方計画

～癒やしあときらり輝く産業のしま・四国の創造～

計画原案の概要

平成21年5月28日

第3回 四国圏広域地方計画学識者会議 資料

社会の潮流

人口減少・高齢化の急速な進行
産業技術の高度化・情報化の進展
広域交流の拡大・グローバル化の進展
「新たな公」の役割の重視

災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大
産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化
価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視

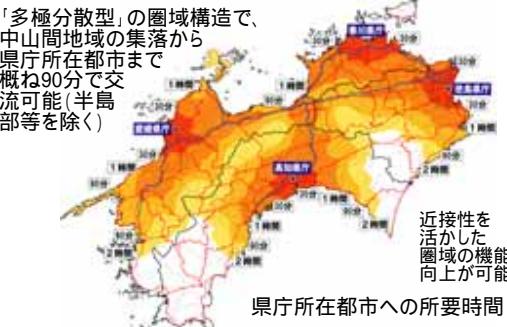
四国圏の特徴

◆ 強み

美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在

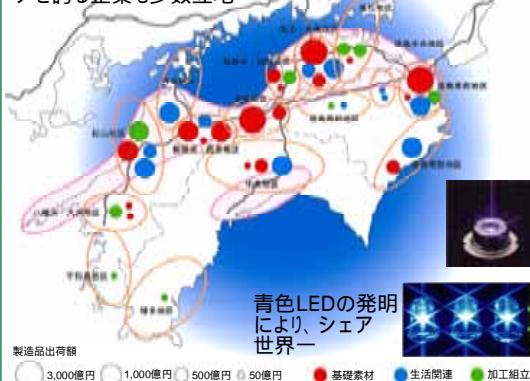


多様な地域の存在と相互の地理的近接性を活かした交流の可能性



確かな力ある産業の存在

主に瀬戸内海側に産業が集積し、世界一・日本一のシェアを誇る企業も多数立地



個性のある一次産業、食等の存在

各県を代表し、全国的にも知られた食品・食材が存在

代表的な食品・食材



人材育成活動の活発化

◆ 弱み

厳しい地勢・自然条件

経済社会面・生活利便性面の格差とインフラ整備の遅れ

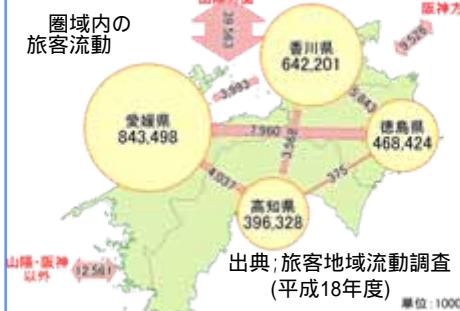
高速道路網の整備の遅れにより、他圏域との格差が発生
高速道路網等の整備状況



産業集積・企業集積の不十分さ

四国圏内外との連携・交流の弱さ

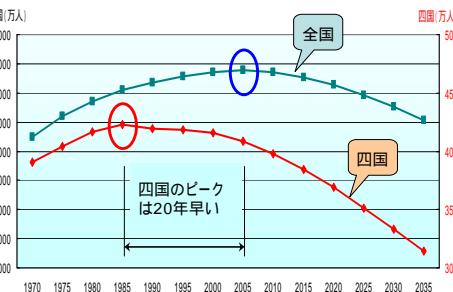
圏域の旅客流動は、圏域内の交流よりも圏域外との交流が多い



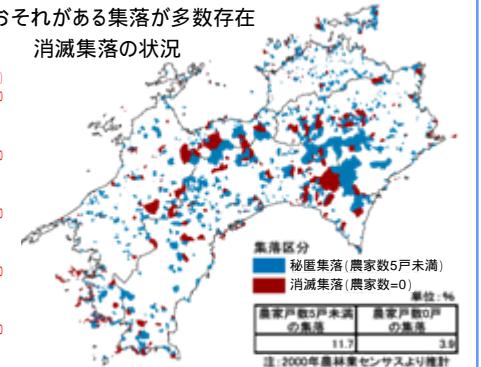
人口減少による国土の荒廃・喪失

人口減少の急速な進行(全国より20年早い)、消滅のおそれがある集落が多数存在

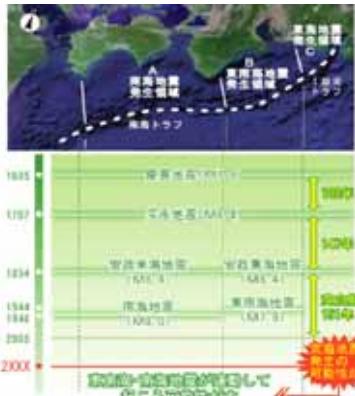
人口減少の推移



消滅集落の状況



四国圏の特徴を踏まえた今後の課題

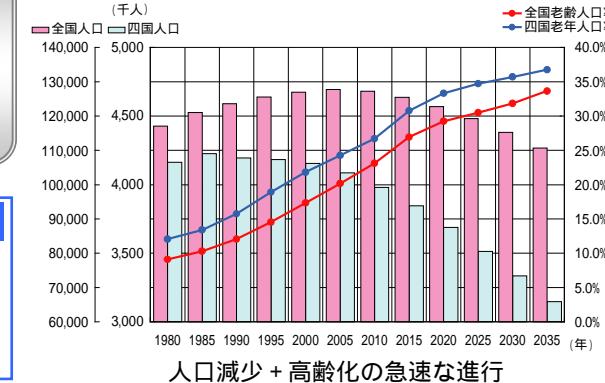


東南海・南海地震の発生のおそれ
(今後30年間の発生確率：東南海地震：60～70%、南海地震：50%)
急峻な地形・地質条件、厳しい気象条件
人口減少が全国より約20年、高齢化が約10年早く進行
首都圏等への人口の流出

戦略的取組を通じて、人が定住し交流人口の多い圏域にすることが必要

そのためには、

- 人々の多様なライフスタイルに応じた生活や活動の場となる環境の整備
 - 地域の魅力を活かし、新たな魅力を生み出す地域づくり
- が不可欠



災害や環境に対する安全・安心の確保

東南海・南海地震や台風、頻発する渇水に対応しないと、人が定住する圏域にはならない



〔早明浦ダム〕渇水による被害
(生産・生活活動にも影響)

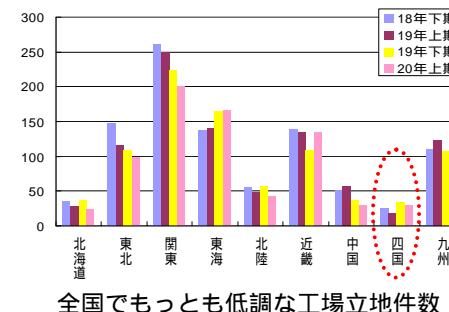
中山間地域、半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上

耕作放棄地や管理されない森林が増加すると国土の荒廃を防げない



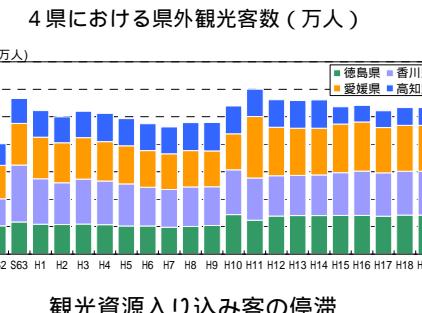
外部環境変化に対応した産業活性化の展開

産業が活性化しないと人の集まる圏域とならない



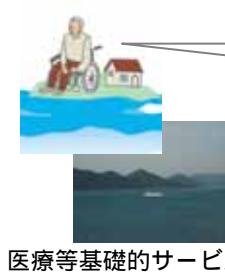
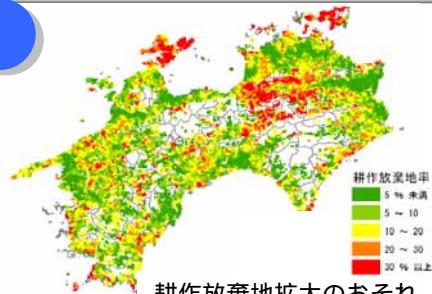
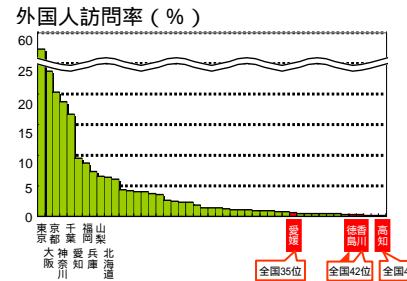
豊富な地域資源の活用と魅力の創出

地域にある独自の資源を最大限に活用しないと、圏域の自立的発展は望めない



圏域内外における結びつきの強化

四国が一体となって圏域内の結びつきを強化し、他圏域や国外とも交流を促進しないと活力向上は望めない



1週間に2、3回、高松に出かけます。市内の病院にも時々通っています。以前は、週に4回お医者さんが島に来てくれていましたが、今は週に1回だけなんです。（女木島在住）

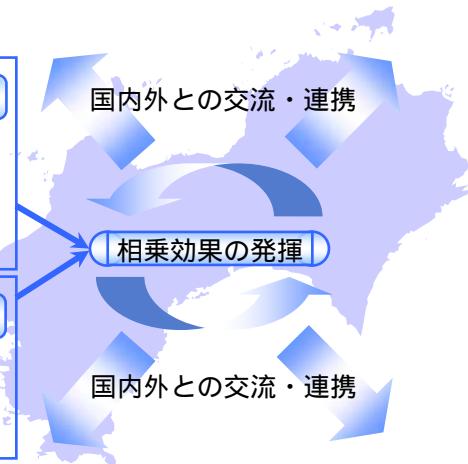
四国圏の発展の姿

四国圏がもつ「癒やし」の魅力を活用する

心の豊かさを求める時代の要請に応え、四国圏独自の「癒やし」の魅力を伸張させ、四国の住みやすさを高めつつ、訪れる人を増やし、地域力を向上させる。

独自の資源に裏打ちされた経済活力を活かす

特色ある企業や産業集積、全国的に認知度の高い食品・食材など地域資源を活かしつつ、絶え間ざるイノベーションにより経済活力を高める。



成長力をより強め、多様な人材をひきつける圏域に

今後10年間の圏域づくりに向けて

- 安全・安心と経済活力を支える環境づくり
- 地域のことは主体的に自分たちで取り組むという考えに基づく、独自性、個性を活かした地域づくりと地域づくりを進めるための「担い手となる人材の育成」「地域資源の活用」「『新たな公』の構築」
- 圏域内の多様な地域が適切な役割分担を図り「四国はひとつ」の視点から戦略的に連携することにより新しい四国の価値を創出
- 全国のモデルとなることをを目指した地域づくり
- 全国、世界との交流・連携を深めることにより、さらなる活力を創出

これらの考え方を重視した取り組みが必要。

基本方針

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する
『癒やしと輝きのくに』 四国の創造

四国圏の発展に向けた目標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

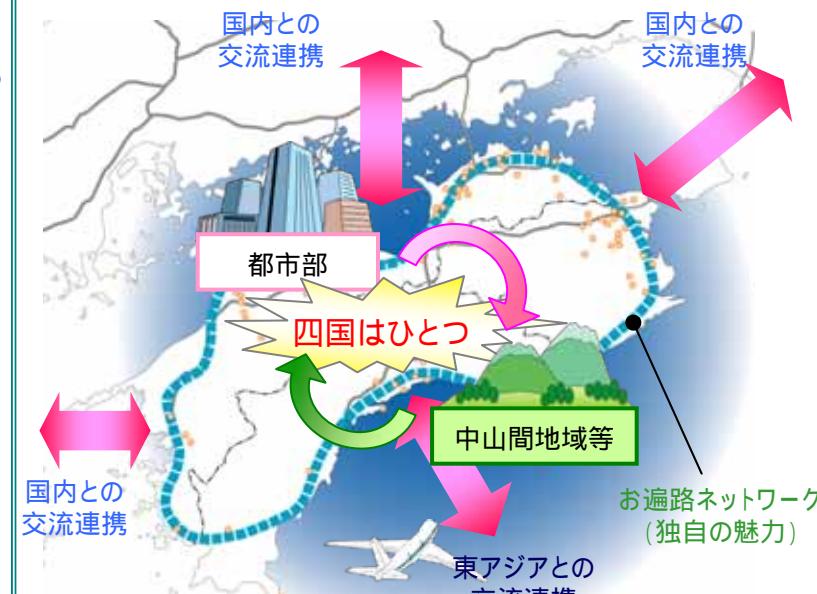
地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国

地域の視点

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国



発展に向けた目標

<安全・安心>
災害に強い地域をつくる

<自然保全・環境>
自然・地球環境との調和を高める

<暮らし>
地域の暮らしの快適性を高める

戦略的取組

災害に強い地域

東南海・南海地震等大規模災害発生時に おける被害の抑制と迅速な復旧

- ・水害や土砂災害等の頻発箇所における対策の推進
- ・建築物や構造物の耐震性強化、密集市街地の改善
- ・大規模災害発生時における迅速な復旧と事業継続

災害時の交通・情報通信ネットワーク強化

- ・災害に備えたネットワークの強化
- ・災害情報の収集・共有体制の構築

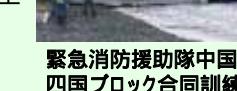
減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の向上

- ・安否確認や助け合い等自主防災活動の促進
- ・避難路や避難場所の確保と防災意識の向上
- ・自治体や地域住民との防災情報の共有化

広域的な応援体制の構築

- ・広域的な応援体制の強化

災害発生に備えた広域連携



自然・地球環境との調和

失われつつある自然との共生

- ・自然の保全と再生
- ・豊かで美しい瀬戸内海等の環境保全・再生
- ・交流活動や地域緑化運動の拠点づくり



森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保

- ・森林や農地の適切な整備と保全
- ・渇水に強い地域づくり
- ・流域圏での環境や資源の保全・再生の推進



人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築

- ・循環型社会の形成
- ・地球温暖化防止の推進
- ・大気・土壤対策等の推進

自然と地球にやさしい環境保全活動・環境教育の推進

暮らしの快適性

安全・安心で快適な生活環境づくり

- ・高齢者等に配慮した快適な住環境整備
- ・社会基盤の効率的・効果的な整備
- ・安全・安心な交通環境の形成
- ・犯罪のない地域づくりの推進

[オリーブマーク]

香川県下で、ドライバーに右左折時の方向指示器の早期点灯を促すために道路上に表示されたマーク（写真：高松市天神前）



オリーブマーク



[おいしい風土 いこちサポーター]

それぞれの立場で地産地消の活動を実践し、活発な情報交換や交流をつうじて活動をさらに深めてもらうため、PRや交流の場が設けられている。

地域づくりの担い手の育成と多様な主体が参加できる仕組みづくり

- ・地域に根ざした人材育成及び確保
- ・行政と民間主体の連携・協働等

平成18年度 1人1日あたりのごみ排出量

全国平均：1116g/人日



道路清掃ボランティア
(徳島県徳島市)

自然豊かで美しい四国

石鎚山(愛媛県西条市、久万高原町)

竜串海中公園(足摺宇和海国立公園)

琴弾公園(香川県観音寺市)

エンジェルロード(香川県土庄町)

小豆島

うずしお

(徳島県鳴門市)

龍河洞

(高知県香美市)

ウミガメ

(徳島県美波町)

足摺岬

(高知県土佐清水市)

美しい自然

地理的近接性

脆弱な地勢

ここでの暮らしの快適性を！

発展に向けた目標

<産業の活性化>

絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる

<産業集積>

多元的成长力を持つ産業集積を高める

戦略的取組

世界に通用する産業

イノベーション活動を牽引するコア企業の創出

- ・産業支援機能の充実と連携強化
- ・企業のイノベーション活動への支援

圏域内外の連携による新たな事業展開の推進

- ・既存の産業集積を越えた産業ネットワーク・クラスターの形成
- ・地域産業の課題への対応、連携による支援機能の強化
- ・圏域内外との企業間連携の促進



地域の協働による産業人材の確保・育成

- ・柔軟な人材を育成する仕組みの形成
- ・産業界や地域の教育機関等と連携した人材育成
- ・東アジア等との交流によるグローバルな人材育成



知的財産戦略の構築

- ・中小企業等の知的財産の戦略的活用の推進

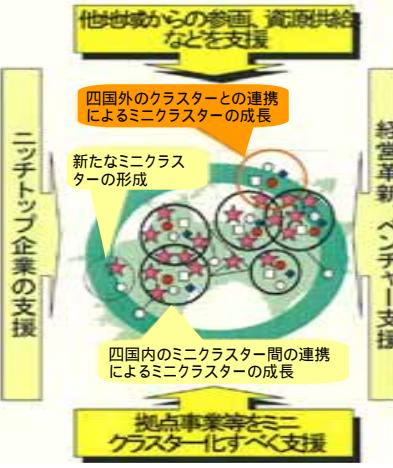
産業集積の分布



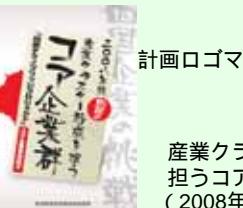
異業種との連携等による新たな展開

- ・業種間交流と異業種への進出支援
- ・中小企業の生産性向上・潜在力の発揮
- ・コミュニティ・ビジネスの創出
- ・医療・福祉関連産業の創出

クラスター展開(四国内連携)のイメージ



四国テクノブリッジ計画



産業クラスター形成を担うコア企業群
(2008年版)

「四国テクノブリッジ計画」:『技術』をキーワードに産業振興をしようという取組

多元的成长力を持つ産業集積

農林水産業の競争力の強化

- ・一次産品を用いた四国ブランドの育成
- ・食の安全の強化による付加価値化の促進
- ・需要拡大による林業・木材産業の再生
- ・漁場環境を活かした水産業の活性化



温州みかん(愛媛県) なると金時(徳島県)

地域の特性・強みを活かした企業立地環境の整備

- ・国際的な競争力・技術力を持った企業誘致等の支援
- ・四国圏に立地するメリットの充実



紙製造、紙加工販売(愛媛県)

ナビンセット(香川県)

微細構造加工デバイス

糖質バイオ

溶接・表面改質

徳島健康・医療産業

東予ものづくり

次世代紙加工

ライフサポート

環境関連モノづくり

次世代情報デバイス用薄膜ナノ技術

製品例

電池用セバレータ(高知県)

椎茸エキス・粉末の製造、販売(徳島県)

発展に向けた目標

<地域の魅力創出>

美しい風土を形成し、地域の魅力を高める

<個性ある地域づくり>

歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する

戦略的取組

美しい風土（地域の魅力）

美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり

- ・美しい森林や棚田等の良好な田園景観の保全
- ・自然の姿を残す河川や海岸線の保全



美しい自然・景観の保全と次世代への継承

- ・地域を自然保全活動のフィールドとする人材育成及び受入れ体制の整備
- ・自然保全に関する高齢者の知恵と経験を次世代へ伝える仕組みづくり

地域の歴史・文化の継承

- ・四国独自の文化を保全・継承するための人材育成



中四国9県連携による各県代表
高校生による地域伝統芸能の祭典

- ・遍路文化の伝承及び地域独自の伝統・文化を保全・継承する仕組みづくり



四国遍路を始め歴史・文化を活かした新たな魅力の創造

- ・歴史文化を活かした個性ある地域づくり



引田の
ひなまつり

- ・芸術の宝庫としての新たな価値の発見、観光資源の創出及びそれらを活用した観光振興



瀬戸内アートネットワーク

- ・地域密着型プロスポーツの振興



四国・九州アイランドリーグ

発展に向けた目標

<広域的交流の促進>

東アジア・世界との交流を活性化する
環瀬戸内海や全国との交流を活性化する

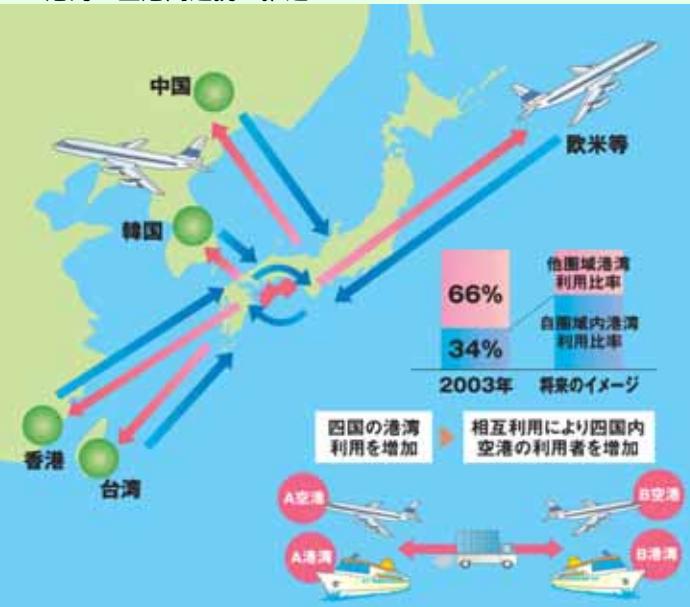
圏域内の交流を活性化する

戦略的取組

東アジア・世界との交流

国際ゲートウェイ機能の強化

- 東アジアや世界を結ぶ効率的な国際交通ネットワークの形成
- 港湾・空港間連携の推進



戦略的情報発信・PRの強化

- 地域資源活用の支援体制の充実
- 地域資源の戦略的な情報発信とPR
- 国際的なコミュニケーション能力を備えた人材の確保・育成



アジア人財資金構想
シンポジウム



環瀬戸内海や全国との交流

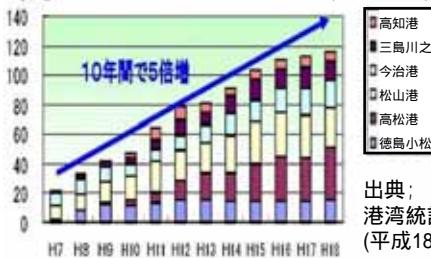
交流を支える四国圏外とのネットワークの強化

- 本四3架橋の有効利用等による圏外との交流・連携促進
- 圏外との交流を支える港湾・空港機能の強化



<東アジア・世界との経済交流の状況>

四国の外貿コンテナ取扱量（輸出入合計）



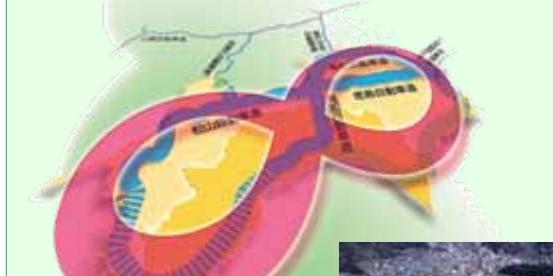
四国圏の地域資源等の魅力の全国への発信

- 交流を担う人材の育成、戦略的情報発信
- 四国圏へのUJターンや複数地域居住等の促進

圏域内の交流

各都市の魅力向上と相互連携の強化

- 産業・文化活動等における都市圏相互の結びつきの強化
- 既存高速交通ネットワーク等の利用促進、道路ネットワークの整備



都市と中山間地域等との交流促進

- 複数地域居住等を促す体制づくり
- 環境保全等のための川を介した上下流域住民の交流促進
- 都市住民の農山漁村体験交流の促進



大阪府から徳島県美馬市に移住

四国河川文化ネットワーク

河川文化を情報発信する四国河川文化ネットワーク

発展に向けた目標

<相互補完の関係による共生>

農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える

都市の魅力・快適性を高める

戦略的取組

農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境

安心で暮らしやすい農山漁村の形成（日常生活の利便性向上）

- ・安全・安心できるサービス機能や生活基盤の確保
- ・移動手段の確保、公共交通サービスの維持
- ・高度情報通信基盤の整備推進

田んぼオーナー制度
(梼原町四万川)

農林水産業の再生

- ・農林水産業の担い手育成・確保
- ・地域資源を活かした関連産業の育成
- ・鳥獣被害対策の実施



小手島（丸亀市）

農山漁村の住民は、医療や買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスを求めて都市部へ



離島航路

ブロードバンド環境体験
(徳島県神山町・佐那河内村)

地域の魅力向上と都市との交流

- ・スローライフの促進
- ・創意工夫による住環境、福祉、教育環境の整備
- ・美しい風景や自然環境保全の仕組みづくりと支援制度の充実
- ・農林水産業とふれあう機会の拡大



上勝アートプロジェクト

中山間地域

診療所

商店



相互補完の関係

都市の住民は、精神のリフレッシュ、自然とのふれあいを求めて農山漁村へ



物部川源流ふれあいの森

半島部・島しょ部

商店



船



バス

都市部

高層ビル



車



歩行者

自転車

車

目 標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～

東アジアを始め、広域的に交流を深める四国

～進取の息吹きを与える交流の創出～

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国

～農山漁村と都市の共生～

広域プロジェクト

No.1 人と文化を育む産官学連携プロジェクト

No.2 緑の島四国の森林共生プロジェクト

No.3 南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

No.4 きらり輝く技術力・健康支援産業クラスター形成プロジェクト

No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

No.6 防災力向上プロジェクト

No.7 中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト

No.8 四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

No.9 瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

No.10 黒潮洗う南海輝きプロジェクト

人と文化を育む産学官連携プロジェクト

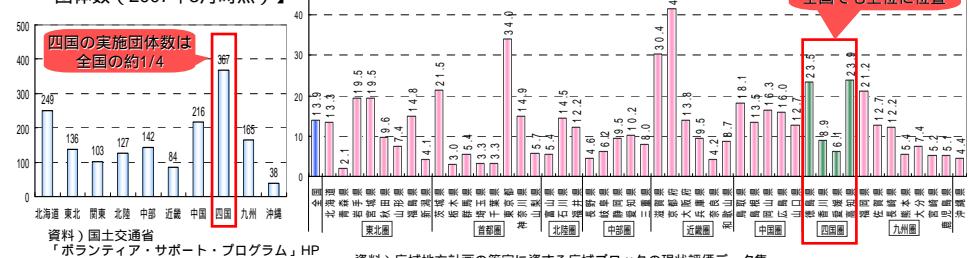
[目的・コンセプト]

四国の将来を考え、具体的な取組を実践できる

人材の育成と環境づくり

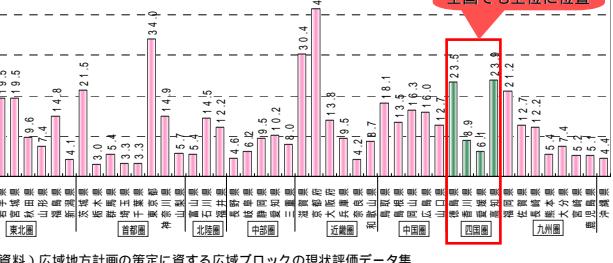
- 今後、圏域の持続的発展に向けて、「四国はひとつ」という意識を共有しつつ、新分野や地域の歴史・文化を活かした地域振興等の取組に挑戦し、四国圏やそれぞれの地域の将来を担う人材を育てるとともに、その土壤を育むことが不可欠であるが、人口減少や高齢化の進行に伴い、地域社会を支える人材の不足、地場産業における後継者問題、研究開発を支える人材の交流不足が懸念されている。
- このため、**産業連携、文化継承、地域振興、子育て等の分野で具体的な取組を担う人材の育成とそのための環境づくり**に、四国圏が連携して取り組んでいく。

【ポラティア・サポート・プログラム
(道路)地方別実施団体数(2007年3月時点)】



【100万人当たり大学発ベンチャー企業数(2007年)】

徳島県や高知県は全国でも上位に位置



具体的取組内容

(1)「四国はひとつ」という意識を共有し四国の将来を支える人材の育成

四国4県の地域シンクタンクの連携強化と四国全域の地域政策を研究・立案するシンクタンク構想の具体化

四国の大学の連携による「e-Knowledgeコンソーシアム四国」の推進



(2)四国の文化交流や伝統芸能等の継承に向けた人材の活用

四国4県の連携による文化交流、伝統芸能の継承に向けた情報発信等の促進



地域交流に重点を置いた、地域密着型スポーツの振興



4県共同舞台芸術講演～四国の人の形～(徳島県)

(3)地域や社会の新たな活力を担う人材の活用・育成

優秀な人材を持続的に提供していく産学連携による新たなプラットフォームの構築

造船業における企業と大学の連携や中国圏との連携による人材育成の取組の推進

船舶工学関連の寄付講座・船舶工学特別コースの設置
(愛媛大学)



構造・材料開発研究センター
(福山大学)での四国の中堅建築系専門家による交流

産学連携による産業分野での先導的中核人材育成の促進

土佐フードビジネスクリエーター人材創出シンポジウム



最先端の科学技術の体験教育や次世代の社会人基礎力の育成の推進

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業
(新居浜工業高等専門学校)



基礎力.net

企業人、教育者、学生等、社会人基礎力に関わる人々がそれぞれの立場で自身の経験や見知り出し合い交流を深め、「いかに社会人基礎力を伸ばすのか」を共有するコミュニティサイト。

社会人基礎力育成の取組

四国4県の連携による高齢者の雇用創出や若者の就職促進、O B人材の情報発信の推進



ジョブカフェこうち

地域づくり・まちづくりを牽引する人材や地域の産業を支える人材の研修等の推進



【講義の様子】

地域リーダー養成セミナー(松山市)

(4)次世代育成のための環境づくり

四国4県の連携による子育て家庭を対象とした割引特典や支援サービスの相互提供等の取組の促進



子育て家庭応援キャンペーン

企業と地域社会の連携による子育て支援活動の促進

企業の子育て支援活動促進事業
(香川県内)



地域全体で子育てを支援する取組の推進

子育てタクシー

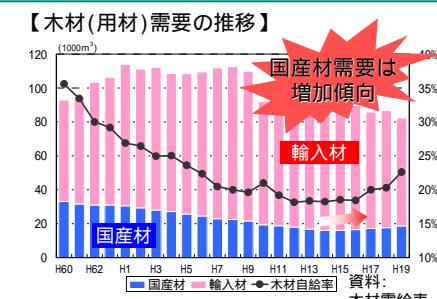
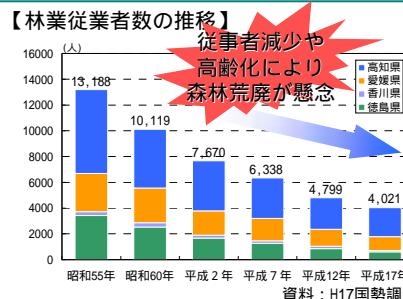


緑の島四国の森林共生プロジェクト

目的・コンセプト

森林資源を活用した圏域の活性化と次世代への継承

- ・四国圏の面積の約75%を占める森林は、国土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材の供給等の多面的機能を有し、圏域住民の生活に広域的に恩恵をもたらす「緑の社会資本」である。
- ・また、国産材需要の増加傾向、CO₂吸収源としての価値の高まりを受け、これらの資源を活用した圏域の活性化を図るとともに森林資源の持続的な循環利用を推進し、この恩恵を次世代に引き継いでいく必要があるため、全国のモデルとなるような取組を柱として進める。



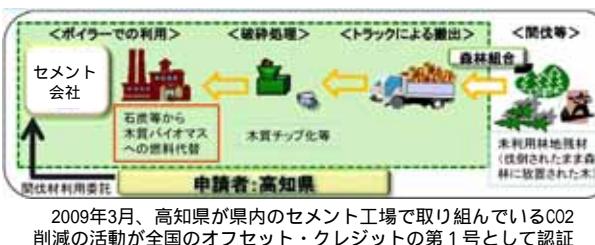
具体的取組内容

(1) CO₂吸收源としての価値に着目した取組

各県のCO₂吸收認証制度の取組成果を踏まえた四国圏全体における認証制度の導入を推進



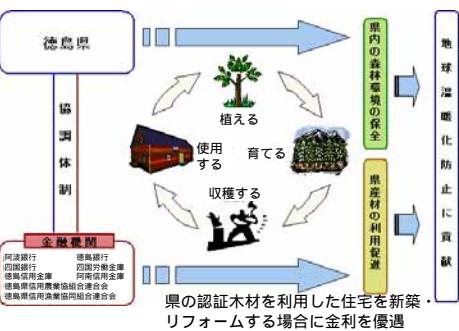
国内CO₂排出権取引「オフセット・クレジット制度」を活用した森林間伐活動の促進



(2) 林業と木材産業の一体的な再生及び森林資源の循環利用

民間住宅等への四国産木材の販路・活用の拡大、公共施設整備における四国産木材の活用の推進

徳島県で行われている住宅資金貸付制度のイメージ



四国産木材の活用事例(公共施設)

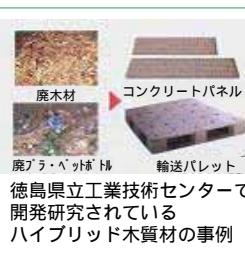


森林の団地化等、木材の安定供給・林業の再生を図る体制づくり

高知県が進めている「森の工場」(団地化)のイメージ

森林の団地化：所有者の違う森林において、施業・経営の集約化を図ること
ハイブリッド木質材の開発・利活用、4県の公設試験研究機関の情報共有化の推進

木質バイオマス利用の拡大に向けた、残材収集・搬送システムの開発、残材・間伐材の地産地消の促進、技術開発や製品の販路開拓の支援



那賀町では、木質バイオマスを含めた、総合的なバイオマス利用の拡大にむけ「那賀町バイオマスクタウン構想」を策定。本構想では、燃料材利用(木質ペレット)だけではなく、ウッドケミカル分野に閑した開発を含んだ計画を策定。



間伐材の地産地消を促進するチップボイラー施設(徳島県上勝町)

(3) 四国の美しい森づくり

「四国の森づくりに関する共同宣言」に基づく、多面的機能の向上に配慮した森林整備、県民への普及啓発、ボランティアの育成や交流、森林環境教育活動等の推進

自然環境の保全、再生や河川への濁水流出防止等に資する、行政、NPO、上下流住民等の連携による水源地保全活動等の推進

森林保全活動の事例(愛媛県内)
（植樹）
（オイスカ愛媛県支局）



野生鳥獣被害の防止に向けた4県連携による適切な鳥獣保護管理の実施

シカの食害が拡大する三ヶ系の山林で、徳島・高知両県の中学生が防護ネットを巻く作業を共同で実施(H20.11.11)
（徳島県・木頭中学校）



緑の回廊等の適正な管理の実施、エコロジカルネットワーク構想策定等に向けた取組の推進

圏域内外の企業等と行政・森林組合等との協定の締結等による森林づくりの推進

高知県で取り組まれている「環境先進企業との協働の森づくり事業」の仕組み



「フォレストマッチング」(香川県)
森林情報をCSRに関心のある企業等に県が情報提供し、企業等、県、市町等で協働の森づくり協定を締結。
企業は経費負担を行い、社員の参加により、植林・下狩・間伐といった森づくり活動を実施

南海と瀬戸内の食彩展開プロジェクト

目的・コンセプト

「四国の食」ブランドの確立・強化と

国内・国外における競争力の強化

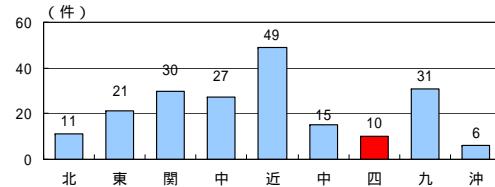
- ・四国圏では、高知のかつお、愛媛のみかん等全国的に有名な食材が数多く存在する。
- ・これら「四国の食」ブランドの普及促進を展開して、商圈の拡大や食材の1.5次産業化を進めることにより、圏域を支える産業の一つである農林水産業の競争力の強化を図るとともに、圏域内の食料供給力を高めつつ圏域外へも安定的に食料供給できる体制を確立する。

【認知度の高い四国の一次産品】



資料：四国経済連合会「四国外住民の認知度」
(四国の一次産品に関するアンケート)

【地域団体商標登録件数(食に関する件数)】



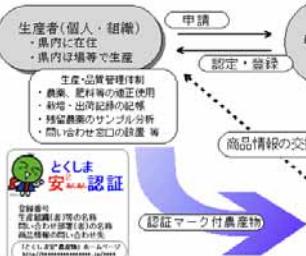
資料: 経済産業省 特許庁 地域団体商標2008(H20.6)

具体的取組内容

(1) 「四国の食」ブランドの確立・強化に向けた生産者への支援、食関連産業の育成

品質強化のための4県共通の認証制度設計の取組やブランド力の強化

「とくしま安²（あんあん）農産物」認証制度 「とくしま安²農産物」認証制度の概要



四国圏の地域団体商標登録の普及拡大



四国圏では全国的に有名な食事が多数存在。

産学官連携・農商工連携による栽培・養殖技術や新品種改良等の技術開発の促進



「とくしまSOYくふう」
産学官連携により農商工連携での大豆副産物（おから）を有効活用した安心安全な食品や地域資源循環型ビジネスを創出する活動により生まれた製品の総称ブランド

海外向け商品のMSC認証の獲得



生産量増加に向けた取組や農林水産業の経営強化に向けた支援の推進

【農商工連携ファンド】
中小企業者と農林漁業者との連携者が実施する新商品の開発等の新たな取り組みに対して助成金を交付するスタートアップ応援型のファンドであり、各県の地域の特徴やニーズに応じ、中小企業者と農林漁業者が協力して行う農商工連携による地域経済の活性化を目指すもの。



【土佐黒潮牧場】
鋼製大型浮遊魚礁ブイを土佐湾沖合に設置し、ブイの周りに集まった魚を効率的に漁獲。現在12基の浮遊礁が高知県海域に設置。

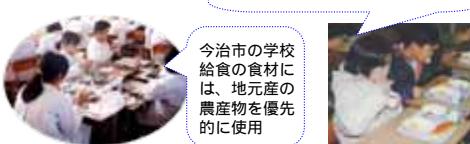
地产地消の促進

ぎょしょく教育



「愛媛大学南予水産研究センター」では地域と密着した食育活動として、「ぎょしょく教育」の展開を図っている。

学校給食における地元産食材の利用



南国市では中山間地域の棚田米や市内産青果の学校給食導入を実施

MSC認証とは、水産資源や海洋環境を守って獲った水産物に与えられる証。土佐鰯水産(株)(高知県)が、カツオ漁で世界初の認証本審査開始。(国内漁業では2例目)

(2) 東アジアをはじめとする国外や国内市場における競争力強化

国外及び大都市圏での四国ブランド商品の販路拡大に向けた4県連携によるプロモーション活動の実施

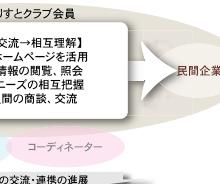


農商工連携による食品加工流通の集約化の促進

(3) 「四国の食」ブランドを支える農林水産物の生産体制の確立

農林水産業を支える経営感覚に優れた農林漁業者の育成、集落営農組織の育成・法人化、新規就農者の育成・確保

あぐりすとクラブ



生産段階における「食品安全のためのGAP」の推進、トレーサビリティの取組の推進

農地・農業用水等の生産基盤の適切な整備・保全の推進

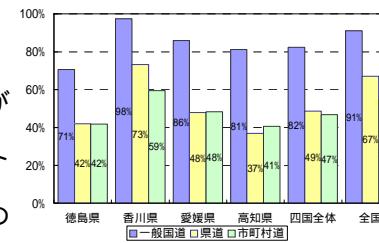
圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト

目的・コンセプト

活力・魅力あふれる地域の形成

- ・四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みとなる地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の活力や魅力を高め、地域力を向上させる必要がある。
- ・そこで、圏域内の連携意識や一体感を高める地域の活動や交通ネットワーク基盤の強化等により、**圏域内及び東アジアを含む他圏域との交流・連携を図るとともに、中心市街地の活性化等による都市機能の強化に取組、活力・魅力あふれる地域の形成を目指す。**

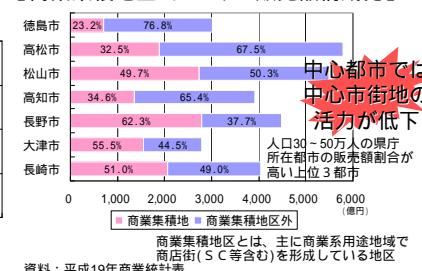
【道路改良率の状況】



【四国の重要港湾入港外航商船の一隻あたり平均総トン数の推移】



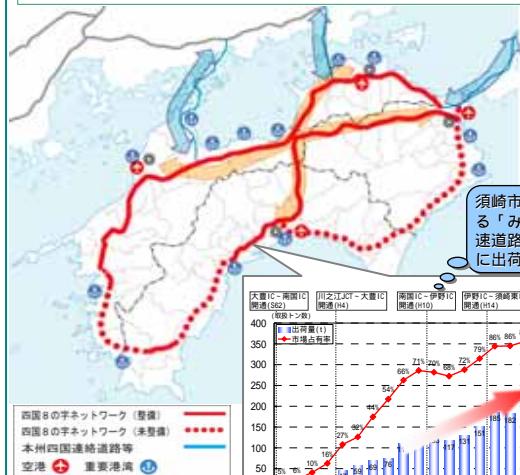
【商業集積地区における販売額構成比】



具体的取組内容

(1) 交通インフラの整備等による圏域内における交流の活性化や国内他圏域との交流・連携の強化

圏域内外の交流活性化等による活力と魅力の向上に必要不可欠な、四国8の字ネットワークの整備推進



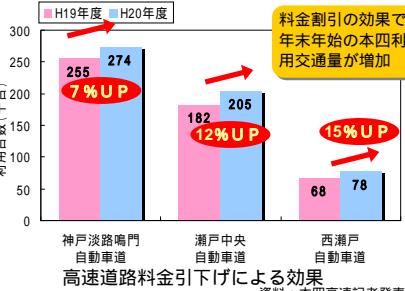
社会資本の高齢化に対応した適切な維持管理等による施設の長寿命化の推進

道路情報や災害情報等の移動支援に向けた情報提供サービスや情報通信環境の充実



住民総参加型による地域力再生の取組の促進

本四3架橋のより一層の効果的な利用による四国圏外との交流・連携の促進による広域観光の推進や地場産業の振興



国内他圏域と四国を結ぶ海上輸送の拠点となる複合一貫輸送ターミナル等の整備推進



交流促進を支えるターミナル機能の強化▶

都市と中山間地や重要港湾・空港と高速道路ICを連絡する幹線道路の整備推進

(2) 國際ゲートウェイとしての港湾・空港及び國際幹線航路の機能強化

多目的国際ターミナルの整備や各港湾の特長を生かした広域的な連携の推進

瀬戸内海を航行する船舶の安全性及び物流の効率性の向上、関係機関と連携した総合的な航行安全対策の推進

東アジア諸国等海外との国際定期便や国際旅客チャーター便の就航によるインバウンド観光の推進

国際線のチャーター便▶



四国の港湾と東アジア諸港を結ぶ国際定期コンテナ航路の就航便増加や新たな航路の誘致の推進



ポートセミナーの開催

国際コラボ航路の誘致、拡充

スーパー中枢港湾と結ぶ就航便増加等による内航フィーダー網の充実

「次世代シングルウインドウ」の利活用による四国のが港湾・空港におけるサービス水準の向上

(3) 都市における機能強化・集約化と良好な都市空間の形成及び都市の役割分担と連携の強化

都市機能が強化・集約化された都市拠点の形成に向けた都市基盤整備の推進



魅力的な歴史的風致をもつまちづくりやまち並み環境の保全等による景観形成の推進



まちなかへの公共公益施設の立地促進、都市公園・緑地の整備、空き店舗等既存ストックの有効活用等による良好な都市空間整備の推進

公共交通の利用促進・利便性の向上、歩行者・自転車の安全な通行空間の確保



自然エネルギー由来の電力創出を通じたエネルギーが循環するまちづくりの推進

川を活用した賑わい創造の活動や、川を通じた周辺市町村との連携等による賑わいのあるまちづくりの促進

生活に必要な都市機能を広域的な連携により確保する定住自立圏構想の取組の推進

防災力向上プロジェクト

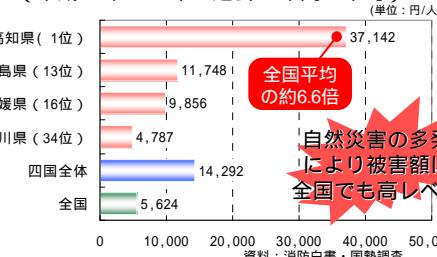
目的・コンセプト

安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

- 四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していることなどから、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害等が発生しているとともに、近い将来、**東南海・南海地震とこれによる津波の発生が想定されており、これらの災害に対応しうる防災力の向上が急務**となっている。
- また、慢性的に発生し、住民生活や企業活動等に大きな影響を与えている渇水問題に取り組むなど、災害による被害を軽減し、**安全・安心に暮らせる圏域を形成することが必要である。**

【1人当たり自然災害被害額】

(平成11年～20年の過去10年間の平均)



貯水率0%時▶
の早明浦ダム
の状況
(H20.9)

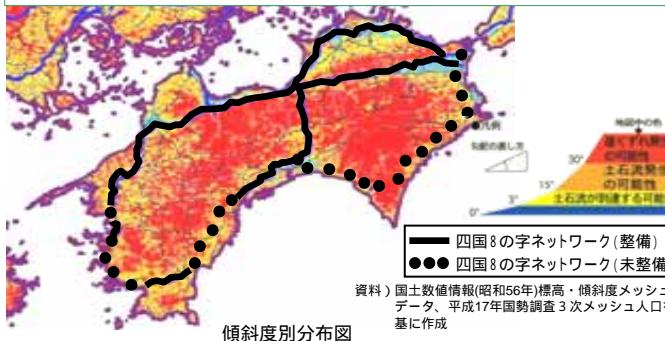


◀ H17.9台風14号によるがけ崩れの状況
(高知県大豊町)

具体的取組内容

(1) 地震災害や台風・豪雨災害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備

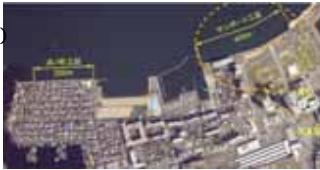
圏域の安全・安心を支える基盤となる四国8の字ネットワークの整備推進



台風・豪雨による水害や土砂災害を軽減する計画的な治水対策、老朽ため池の改修・補強等、治山施設の設置等の推進

津波対策、高潮対策や侵食対策、緊急輸送道路等における橋梁耐震対策や災害対策の推進

高潮対策▶
(高松港海岸)



「道の駅」の防災拠点化や臨海部の防災拠点として緊急物資輸送を担う耐震強化岸壁や避難地として機能する緑地等の整備推進

地震発生時に危険な住宅密集地の解消の推進

(2) 災害時の広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備や自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上

自治体による防災ハザードマップの早期整備・普及の推進

国の機関や4県が参画した「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」による広域合同演習の実施等、災害時の連絡体制の充実を目的とした取組の推進

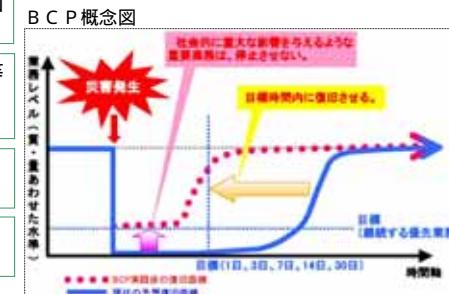


四国4県共同防災訓練

4県による四国圏域内や他圏域との協定を活用した相互応援体制構築の推進

国、県、自治体、大学、民間事業者による業務継続計画(BCP)の策定の推進

高知県が創設した「みんなで支える防災総合補助金」等の制度活用や、防災教育による地域の防災力向上に向けた取組の推進



民間事業者等との連携による帰宅困難者支援協定の締結等の取組の推進

自主防災組織の結成促進及び育成や活性化の指導、高齢者等に対する災害時要援護者対策の推進



高松市防災マップ

(3) 新たな水資源の確保と水資源の有効活用等による安定した水資源の確保

渇水発生頻発地域における新規ダムの整備・既設ダムの再開発・ため池の整備の推進

下水処理水の再利用や雨水利用貯留施設などへの助成制度等、水資源の循環利用促進に向けた取組の普及拡大



四国水問題研究会

渇水時における水利使用の調整や松山市の「節水型都市づくり」の拡大

四国圏における水資源の有効活用と治水・利水・環境の合理的な恒久対策及び実施方針の確立による、効率的な水資源利用のための取組の推進

中山間地域・島しょ部活性化プロジェクト

目的・コンセプト

地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくり

- 四国圏内の中山間地域や半島部・島しょ部は、耕作放棄地の拡大等基礎的条件の厳しい集落が多数存在するが、これらの地域の国土保全等を進め、住んでいる人が活力を持ち続け、地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくりを目指すことが圏域の発展のために必要不可欠である。
- こうした中、四国圏においては高齢者が活躍して、つまもの（葉っぱ）を販売するというユニークなビジネスを立ち上げた徳島県上勝町や、地域で生産されている柚を使用したポン酢醤油やジュース等、地域資源の杉を使用した鞄や食品トレー等の新商品を開発し、国内だけでなく、海外へも販路を広げている高知県馬路村の取組など、全国のモデルとなっている先進的事例も数多く、これらの取組を圏域全体に拡大し、展開していく必要がある。

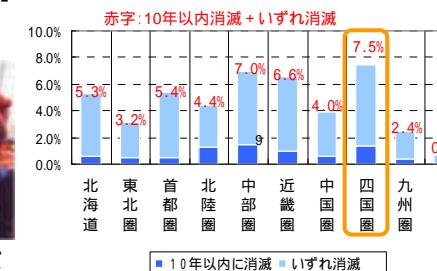
【プロードバンドの利活用】

~町内全域に光ファイバ網を整備~



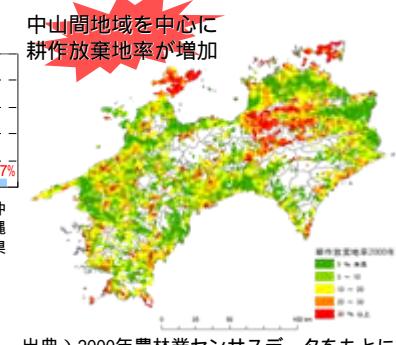
おばあちゃんたちの葉っぱ
ビジネス 彩(いろどり)事業
(徳島県上勝町)

【消滅の可能性のある集落】



出典) 國土形成計画策定のための
集落の状況に関する現況把握調査
(H18.4時点)國土交通省

【耕作放棄地率メッシュ図】



具体的取組内容

(1) 安全で安心できる生活環境づくり

都市と中山間地等を結ぶ幹線道路や生活道路等の道路網の整備、離島航路を支える港湾整備の推進とともに、地域活性化バスの取組を通じた、地域の生活路線や離島航路等の公共交通サービスの維持・向上の推進

1.5車線的道路整備県道畠山板ノ木線
(高知県安芸市)



離島航路 (中島汽船)
(整備前)



医療従事者の確保や巡回診療等の医師の派遣、遠隔医療ネットワークの連携の拡大、防災ヘリのドクターヘリ的活用やドクターヘリの導入等の推進

とくしま医師バンク事業 (徳島県)



遠隔医療ネットワーク



【医師バンク事業】

地域医療を支える医師を確保する施策として、医師が不足している公的医療機関等に、登録している医師・医学生を無料で派遣または紹介するシステム。また、地域医療の実習や研修会も開催している。

新たな公による高齢者の「見守り」
「介護」活動や、住宅等のバリア
フリー化、高齢者福祉施設を併設した
公的賃貸住宅整備への支援等の推進

「命見守り ほっと安心」地域福祉
MAPづくり (香川県まんのう町)



高齢者福祉施設を併設した公的賃貸住宅
整備への支援等



集落単位での防災力の向上と近隣集落とのコミュニティクラスターによる災害
自治活動、地元建設業者との連携や、土砂災害等の防止対策、密集地域の整備等
の推進

災害自治活動



住民の手づくりヘリポート
(高知県越知町桑藪自主防災組織)



起震車体験と出前授業で連携
(高知県南国市白木谷小学校)

土砂災害等の防止対策・密集地域の整備等の対策

【防災機能の集落連携のイメージ】

個々の集落の防災機能を高めるとともに、
近隣の集落を含めて相互の防災機能の
補完により、「地域防災力」の向上を図り、
中山間地域の安全性を確保する。



中山間地域の
防災を考える
シンポジウム開催
(2009.2.21高知県)

若者居住や生活利便性の確保に
向けたプロードバンドゼロ地域の
解消や情報通信環境の充実の推進



プロードバンド未整備地域の住民を対象とした
プロードバンド環境体験会
(高知県馬路村、大川村 平成20年2月)

具体的取組内容

(2) 農林水産業を始めとする地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大・働く場の確保

コミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するため、関係機関の連携による支援体制の構築



道の駅等での新鮮野菜
(徳島県道の駅「日和佐」)



グランドを駐車場利用

居住スペース

廃校を活用した複合住宅（徳島県上勝町）



フォーラム「四国サイコー」

中国四国農政局、四国経済産業局、中小企業基盤整備機構四国支部との共同で、地域の活性化を図るために国が進めている「新連携事業」、「地域資源活用事業」及び「農商工等連携事業」に取り組む事業者及びそれらを支援する関係機関等を参画メンバーとする組織体で、メンバーアイの交流や支援機関等によるハンズオン支援を通じた新たな事業展開の芽の育成や売れる商品づくり、国内外への事業展開の促進を目的として設立。

地域の創意工夫を活かした生産基盤を整備する取組、地域資源を活用した中小企業による新商品・新サービスの開発・事業化等の取組の推進



四国地域資源活用ハンドブック
【地域産業資源活用事業計画の認定事例】



ゆずスポーツドリンクの開発・販売等（高知県馬路村）



新製法による柑橘オリーブオイル
基礎化粧品の開発・生産・販売（香川県小豆島町）



農商工連携ハンドブック
【農商工等連携事業計画の認定事例】



徳島杉の間伐材を利用したつみき型
ブロック工法による新しい企画住宅の
設計・販売（徳島県東みよし町）



特別栽培農産物等認証の完熟
トマトを活用した加工食品の
開発・製造等（愛媛県内子町）

農業・林業・観光業等の異業種連携を進め、地域産業の再生や耕作放棄地の解消、雇用の維持・拡大の推進

企業等の農業等異業種への参入



「建築廃材を活用した塩化ビニール
パイプのかん水施設」
(香川県小豆島町)

耕作放棄地の解消や農業を軸とする
集落の持続的活動を支援する取組の
推進

NPOによるコミュニティ・ビジネスの立ち上げ等を支援するためのNPO支援や担い手の研修等の取組の推進

(3) 都市との多様な交流促進と農山漁村の魅力の向上

複数地域居住の推進

短・長期滞在連携情報のワンストップ情報
提供サービスの充実



農山漁村体験の取組の推進

子ども農山漁村滞在・体験型
学習



久万高原町空き家パンク
(愛媛県久万高原町)

空き家の修繕活用等

空き家パンク (愛媛県久万高原町)

農山漁村の景観・環境保全のための取組や地域の伝承・伝統行事を支える
住民活動、施設の保全等の取組の推進
重要文化的景観の選定

【全国初の5市町連携による重要文化的景観を選定】
(高知県四万十町・梼原町・津野町・中土佐町・四万十市)



【重要文化的景観 (文化庁)】

重要文化的景観の選定制度は、平成17年4月1日の文化財保護法の一部改正により施行された新しい文化財保護の手法ある。日々の生活中に根ざした身近な景観である文化的景観の中でも、文化財としての価値から特に重要なものについて、都道府県又は市町村の申出に基づき、「重要文化的景観」として選定することができる。

地域ぐるみのコミュニティ活動や地元産米等の地域資源を活かした農産品のブランド化等、農業者ぐるみの先進的な営農活動を支援する取組の推進

農道・水路等の草刈りや清掃活動による環境保全
ホタルの里づくり清掃活動
(愛媛県四国中央市)



地元産米等の地域資源を活かした
農産品のブランド化



「乙姫米」(徳島県美波町)

【農地・水・環境保全向上対策
(中国四国農政局)】

農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていること等、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を支援する「農地・水・環境保全向上対策」が平成19年度からスタートした。

関係機関間で連携して適切な支援を行う体制の構築、関係機関の多様な支援ツールを用いた、市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくりの支援

市町村の発意に基づく地域資源を活用した地域づくり
【「地方の元気再生事業」に選定された団体（抜粋）】



「伝説が見える・伝わる、観光まちづくり」(徳島県三好市)

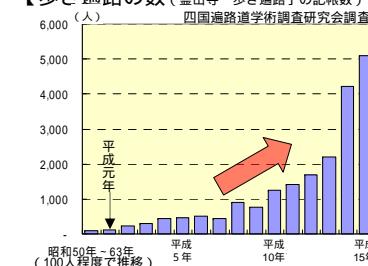
四国霊場八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクト

目的・コンセプト

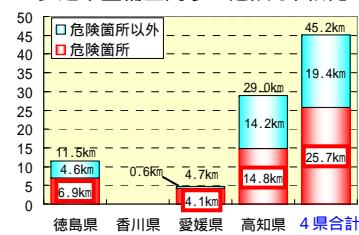
四国霊場八十八箇所と遍路文化を核としたまちづくり・地域づくりの展開

- 四国霊場八十八箇所巡礼の歴史の中で培われてきた「信仰」や「お接待」といった「遍路文化」は、**四国共通の文化・アイデンティティとして、次世代に引き継いでいく重要な文化**であり、近年では、心身のリフレッシュ、精神修養の場として、歩き遍路も増加している。
- しかしながら、四国霊場八十八箇所の門前町の多くは、人口減少や高齢化によりかつての活気や景観が失われており、また、遍路道の保全をはじめ、地域資源・観光資源としての保全・活用が不十分な状況にあることから、周辺の観光拠点と合わせて地域の魅力の向上を図り、遍路道を通じて地域と地域をつなぎ、遍路文化を活かした美しい地域を次世代につないでいく必要がある。

【歩き遍路の数（霊山寺「歩き遍路」の記帳数）】



【歩き遍路が利用する直轄国道の歩道未整備区間うち危険な箇所】



具体的取組内容

(1) お遍路札所周辺の活性化

各札所周辺・遍路道の文化的・広域的景観の保全・修景を4県や関係市町村が連携して推進

景観計画や歴史的風致維持向上計画等の策定や、札所周辺や遍路道の整備・保存の推進

にぎわいのある札所周辺のまち並み



（「四国の道フォトコンテスト」入選作品）



札所周辺の活性化等に向けて、地域住民と一緒にしたお遍路を活かしたまちづくり・地域づくりの推進

門前通り修景イメージ



へんろ道調査2007（四国風景街道）



四国霊場第一番の門前まちとして商店街の再構築を模索し、JR四国板東駅をまちの玄関口とし「おもてなしステーション化」と「発心とふれ合いのまちづくり」を目指して検討中

お接待研修（愛媛大学）

「お接待の心」、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チームワーク力の養成等を目的に実施

(2) 安全で快適に巡る環境整備

歩き遍路の主な経路における危険箇所対策の推進

既存トンネルの安全向上の検討



歩道整備



道の駅等の休憩所・公衆トイレの整備の促進

道の駅（日和佐）



遍路小屋



高松市飯田町



高知県香南市

休憩所・公衆トイレ・コンビニエンスストア等の場所・情報を記した遍路道全域MAPの作成



内海中学校（愛媛県愛南町）の学生により作成された手作りマップ

(3) 四国圏共有の歴史・文化遺産としての保全と活用

「四国遍路世界遺産登録推進自治体協議会」等の枠組みの強化

官民協働の世界遺産登録に向けた取り組み



NPOによる遍路道のごみの実態調査（四国EPO）



四国地域の環境保全活動、ごみ問題への啓発推進に繋がれど、実態調査を実施

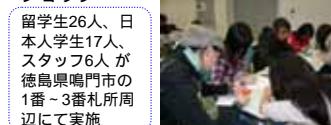
外国人観光客に対応した観光ボランティアガイドの育成や情報発信のコンテンツの多言語化の推進

地域商社・NPO・大手旅行代理店との連携による遍路文化の簡易体験型観光メニュー、モデルコースの開発・展開

外国人のための遍路体験



留学生と日本人の「お接待」ワークショップ



留学生26人、日本人学生17人、スタッフ6人が徳島県鳴門市の1番～3番札所周辺にて実施

サイクル駅伝

「四国霊場88サイクル駅伝」に集まれ！

NPO法人「ループ88四国」は四国霊場八十八箇所を題材にした短編映像を作成し、2009年春にも中国で放送



歴史文化道の表示例

瀬戸内フィールドミュージアムプロジェクト

[目的・コンセプト]

環境保全と魅力向上によるフィールドミュージアムの形成

- ・瀬戸内海は、古くからの交流の歴史と多彩な自然を有する日本随一の内海であり、人々が訪ねたい魅力ある地域とするため、環境の保全や景観の保全を進め、多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力を更に高め、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことが必要である。
- ・本プロジェクトは中国圏等の隣接する圏域とも連携した取り組みを行う。



【瀬戸内海沿岸の主要観光地入込状況】

施設名	単位	18年度	19年度
徳島県 大鳴門橋架橋記念館	人	73,827	95,391
徳島県 港の道	人	591,916	597,660
徳島県 阿波おどり会館	人	125,363	151,375
香川県 墓林公園	人	622,602	624,881
香川県 香川県立ミュージアム	人	100,075	72,481
香川県 二十四の瞳映画村	人	216,094	217,915
香川県 実業第一パークウェイ	人	256,000	273,000
香川県 潮干大橋記念館	人	75,468	82,760
香川県 豊平の人込番数	人	2,975,000	3,202,000
香川県 中津万葉園（有料入園者のみ）	人	42,438	36,116
香川県 地中美術館（直島）	人	92,113	120,815
愛媛県 しまなみ海道レターサイクル	人	21,875	23,628
愛媛県 村上三島記念館	人	4,085	4,297
愛媛県 大三島美術館	人	8,538	8,710
愛媛県 村上水軍博物館	人	45,948	48,492

「平成19年度四国の主要観光地入込状況について」
(H20.7.16 四国運輸局)を基に加工

[具体的取組内容]

(1)瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信

- 海外に向けた瀬戸内海観光に関する情報発信の推進

英語版観光PRサイト（高松市）



高松港とフェリー等で結ばれる直島が「現代アートの島」として欧米から注目されており、行き帰りに高松に立ち寄ってもらうことが狙い。

- 瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に瀬戸内海の島々を紹介する取組の推進

瀬戸内国際芸術祭



2010年7月19日
～10月31日
瀬戸内海の7つの島
+高松
(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島)

島々の歴史や文化を活かした現代アートの祭典

(2)クルーズ観光の推進及び交通環境の整備

- クルーズ船を活用した観光振興の推進

せとうちクルーズフェスタと瀬戸内海ミニクルーズ



離島等の交通環境の整備推進

直島への就航便



2009年1月1日から豊島（香川県小豆郡土庄町）と直島、高松を結ぶ定期航路「アートライン」が就航
豊島の家浦港・高松港間の1日3往復を金・土、日曜と祝日に限り4往復に増やす、そのうち2往復は直島の本村港を経由

(3)地域住民、NPO、行政、企業等の多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・修復や景観保全

- 瀬戸内広域観光のモデルコースの設計、スタンプラリー、入館料割引等による瀬戸内海における美術館等の連携の強化

せとうち美術館ネットワーク（本四高速）



- 瀬戸内海の情報を発信するポータルサイトの充実

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会



瀬戸内しまなみ海道振興協議会



平成19年4月1日
「瀬戸内しまなみ海道周辺地域振興協議会」と「瀬戸内しまなみ海道観光推進協議会」が統合して設立。

- 住民・NPO・行政等のネットワーク構築による環境保全等の取組推進
多様な主体による海辺や海上でのごみ等の回収・処理の実施

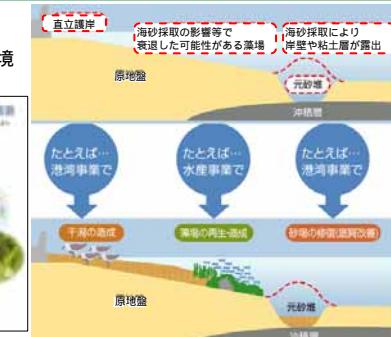
平成20年度リフレッシュ瀬戸内の実施状況



17才女性
今年は特に暑くて倒れそうだったけど、キレイになら気分が良かったです。今年の夏も皆さんに気分良く泳いでいただけると思います。

- 四国地方では22,545人参加し237tを回収
中国地方では27,137人参加し180tを回収
- 海ごみの回収の体験会等の実施、発生抑制に関する普及啓発活動、漁業者に対して海ごみ回収処理対策を呼びかける活動の推進

- 瀬戸内海の景観保全に向けた景観計画の策定推進
「瀬戸内海環境修復計画」に基づく多様な主体の連携・参画による浅場の修復



- 沿岸域における下水道整備等の推進

下水道普及率
(H19年度末)
徳島県：12.1%
香川県：38.6%
愛媛県：44.7%

黒潮洗う南海輝きプロジェクト

目的・コンセプト

「質の高い暮らしの空間」として“輝き”を放つエリアの創出

- 四国の南部、特に西南地域、東南地域は、黒潮が運ぶ豊かな水産資源を始め森林資源、温暖・多照な気候、四万十川に代表される清流や自然景観等に恵まれ、日本の原風景が残る魅力に富んだ地域である。
- こうした他地域では観られない地域の魅力を最大限に発揮させることで、生産と生活のバランスが取れた日本でも有数の質の高い暮らしのできる輝きを放つエリアを目指す。

【四国内の都市間所要時間の比較図】



砂浜美術館
(高知県黒潮町)

【四国の中西南地域、東南地域の魅力】



多様な魅力に
富んだ地域

具体的な取組内容

(1) 海洋資源を活かすフロンティアとしての取組推進

生産から加工・販売に至る新水産業クラスターの形成
促進、安全・安心で持続可能な養殖漁業や豊かな海の
保全・利用に向けた環境研究・教育の充実



「愛媛大学南予水産研究センター」
愛南町や愛媛県等の協力を得て、愛媛大学が水産に関する総合的な研究施設として設置。養殖技術の研究開発のみならず、漁業地域の社会・文化の活性化の研究も行う、水産業の総合的な研究センター。



豊かな海の保全・利用に向けた
環境研究・教育の充実

東アジアをターゲットとした水産輸出体制の整備と輸出促進に向けた取組の推進



海洋深層水を利用した商品群の開発

健康産業、観光産業への展開

真珠産業クラスターの形成と地域ブランド化に向けた国内外への情報発信の取組の推進



(真珠の粉で作られた化粧品)
「宇和島 海の恋人まつり(2009.2.28~3.2)



イルカセラピー等の地域資源を活かした癒し効果の研究や、環境学習・生涯学習の場としての活用促進



環境学習・生涯学習の場としての活用

「海藻押し葉づくり」
親子サマースクール
(高知県柏島 2008.8.18)
NPO法人 黒潮実感センター

(2) 日本一のふれあい体験空間を目指した活動推進

南東地域から西南地域までの太平洋側を日本一の
ふれあい体験空間「黒潮回廊（コリドー）」とする
ため、「四国西南地域観光連絡協議会」や「宇
和島圏域活性化協議会」、「AMA（阿南市・室
戸市・安芸市）地域連携協定」等の連携による、
観光ルートの設定や共同プロモーション、着地型
エージェントの育成等の取組の促進

連携協定を結んでいるAMA（阿南市・室戸市・安芸市）



「AMA地域連携協定を締結」
徳島県阿南市、高知県室戸市、
安芸市との3市で県境を越えて
パートナーとなり、地域のかつ
戦略的な観光及び地域振興に取
り組むため、2008年5月28日に協
定を締結した。

地域のネットワーク化の促進

「コデキネット組織
綾多広域観光協議会」
(高知県四万十市・土佐清水市・
宿毛市・黒潮町・大月町・三原村)

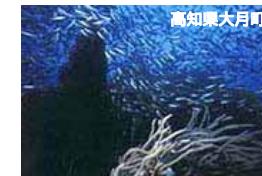
「幡多広域観光協議会」
(高知県四万十市・土佐清水市・
宿毛市・黒潮町・大月町・三原村)
教育旅行を広域的に実施
できる地域づくりの取組。
現在の体验受入システム
の流れ。

アウトドアスポーツの拠点形成及び国内外に向けた情報発信の促進

フィッシング

ダイビング

サーフィン



発光ダイオード光のまち・阿南
「ひかりのまちステーションプラザ」
(徳島県阿南市)

「バーデハウス室戸(高知県)」
「バーデブル(タラソテラピー)

連携テーマ(案)

広域観光・インバウンド観光の推進

産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成

瀬戸内海の環境保全と修復

暮らしの安全・防災ネットワークの整備

広域交通ネットワークの連携促進

広域観光、インバウンド観光の推進

背景・他圏域との連携の方針

美しい自然風景、豊かな地域資源、独自の文化の存在

他圏域と共有する瀬戸内海は、風光明媚な多島美や変化に富んだ景観を有し、圏域には数多くの地域資源が存在しているほか、四国遍路等の信仰文化や「お接待の心」が根付いている。

東アジア等をターゲットとしたインバウンド誘致の活発化

東アジアの経済成長によるインバウンドの拡大が予想される中で、近畿圏や九州圏では既に東アジアからのインバウンド誘致を進めており、地域間競争の様相を呈している。

圏域のポテンシャルを活かし、地域間連携を通じて観光地の魅力と集客力を相乗的に高めるため、特徴的なテーマを持った広域観光ネットワークの形成・強化を図る。

四国圏でも独自のインバウンド誘致に努めると同時に、他圏域との連携により、東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進や観光客受け入れ態勢の整備を図る。

他圏域との連携による取組

東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進

台湾からのプログラムチャーター便（高松・岡山・米子・鳥取との共同運行）



上海からのプログラムチャーター便（松山～広島との共同運行）

国際線のチャーター便（高松空港の事例）

観光客受け入れ態勢の整備

高速バス等がフリーで使えるバスの導入検討

外国人観光客向け接客マニュアルの共有化やウェルカムセミナーの共同開催の実施



外国人観光客おもてなし入門（四国運輸局）



産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成

背景・他圏域との連携の方針

恵まれた地理的特性等を活かした産業集積

海上輸送に恵まれた地理的特性等を活かして、化学、パルプ・紙・紙加工品等の基礎素材型産業や造船業等の加工組立型産業が集積し、中国圏とともに瀬戸内工業地域を形成している。

世界的シェアを有する先端素材型産業の存在

炭素繊維や電子機器関連素材等の世界的シェアを有する先端素材産業が存在し、先端の技術シーズに関する研究開発が進んでいる。

国際化の進展に伴う競争力の発揮に向け、瀬戸内海の沿岸域を
一的な産業集積地とする。

産業ネットワークや研究開発の連携等により、経済波及を高め、
密接な連携関係を構築する。

他圏域との連携による取組

瀬戸内海における静脈物流の推進



三島川之江港を四国圏のリサイクル拠点とし、瀬戸内海沿岸での広域的受け入れ・再資源化の推進



徳山下松港・宇部港等との連携による瀬戸内海の静脈物流ネットワークの形成



四国圏のミニクラスター
その他の産業集積・構想
リサイクルポート

造船産業ゾーンの形成に向けた取組



VLCC (大型原油タンカー)等の開発に対応するサプライチェーン強化や人材育成の促進



紙産業の集積と新たな事業展開



多目的不織布製造装置



不織布を利用した商品（掃除クロス）の開発

愛媛県・高知県の次世代紙素材クラスターを通じた新たな事業展開

LEDバレイ構想の推進



徳島県内において、LED関連企業の研究所や工場等の集積と、高度技術者の育成や研究開発拠点等の整備によるLEDを利用した光産業の集積

健康・医療やバイオ産業クラスターの推進



瀬戸内海の環境保全と修復

背景・他圏域との連携の方針

生物の生息・繁殖の場である浅場の消失や水質改善の停滞

瀬戸内海は、多様な生物の生息・繁殖の場である干潟や藻場が消失しつつあり、水質汚濁や富栄養化による影響は長期的には改善方向にあるものの、近年は水質改善が停滞している。

市町村等の協働による海ゴミ問題解決の動き

瀬戸内海では、大量の海ゴミ対策が課題となっているが、沿岸市町村や府県による美化活動などが展開されているほか、海ゴミ問題を共同で解決しようとする動きがある。

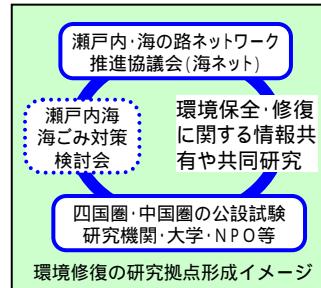
瀬戸内海を豊かな生活や交流の基盤として活用するため、瀬戸内海沿岸のクリーンアップ活動を推進する。

瀬戸内海の環境保全、水産資源保護、環境修復のため、研究拠点の形成や、保全・修復のための多様な活動を広域で展開する。

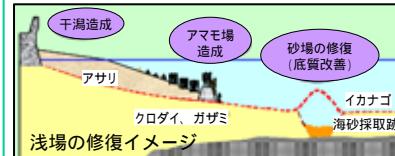
他圏域との連携による取組

環境保全と修復のための多様な活動の実施

公設試験研究機関・大学・NPO等による情報共有や共同研究の実施による環境修復の研究拠点形成



「瀬戸内海環境修復計画」に基づき、様々な主体の連携・住民参加・協働による浅場の計画的な修復



出前講座・環境学習・現場見学会等を通じた環境保全や修復に関する事業・施策の紹介



「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」会員市町村 (平成19年7月1日現在)

暮らしの安全・防災ネットワークの整備

背景・他圏域との連携の方針

大規模災害時における海上交通を活用した救援活動の実施

阪神淡路大震災の際、陸上交通網の遮断に対して港を活用した海上交通で救助隊や救援物資の輸送を行っており、広域的な防災への取組においては、この経験を活かすことが望まれる。

離島住民に対する地域医療サービスの確保

瀬戸内海や豊後水道の離島では、住民の高齢化や人口減少が進行する中で、医療機関へのアクセスが不便な状況にあるが、診療船等により離島住民に対する医療サービスの確保が図られている。

大規模災害の発生に対して、海上交通・空路を活用した応援・救援体制の連携や広域防災拠点ネットワークの形成等を推進するとともに、広域的な相互救援活動の円滑化を図る。

離島住民の暮らしの安全を確保するため、診療船等の活動を引き続き推進するとともに、広域的な遠隔医療体制の展開や広域救急医療体制の構築を図る。

他圏域との連携による取組

広域防災拠点ネットワークの形成

港湾区域のオープンスペース等を活かして救援物資・人材支援・災害医療支援等の機能を配備した広域防災拠点の整備

海上交通・空路を活用した応援・救援体制の連携

瀬戸内海沿岸の広域防災拠点を結び、大量の救援物資や支援部隊を輸送する海上交通ネットワークの構築

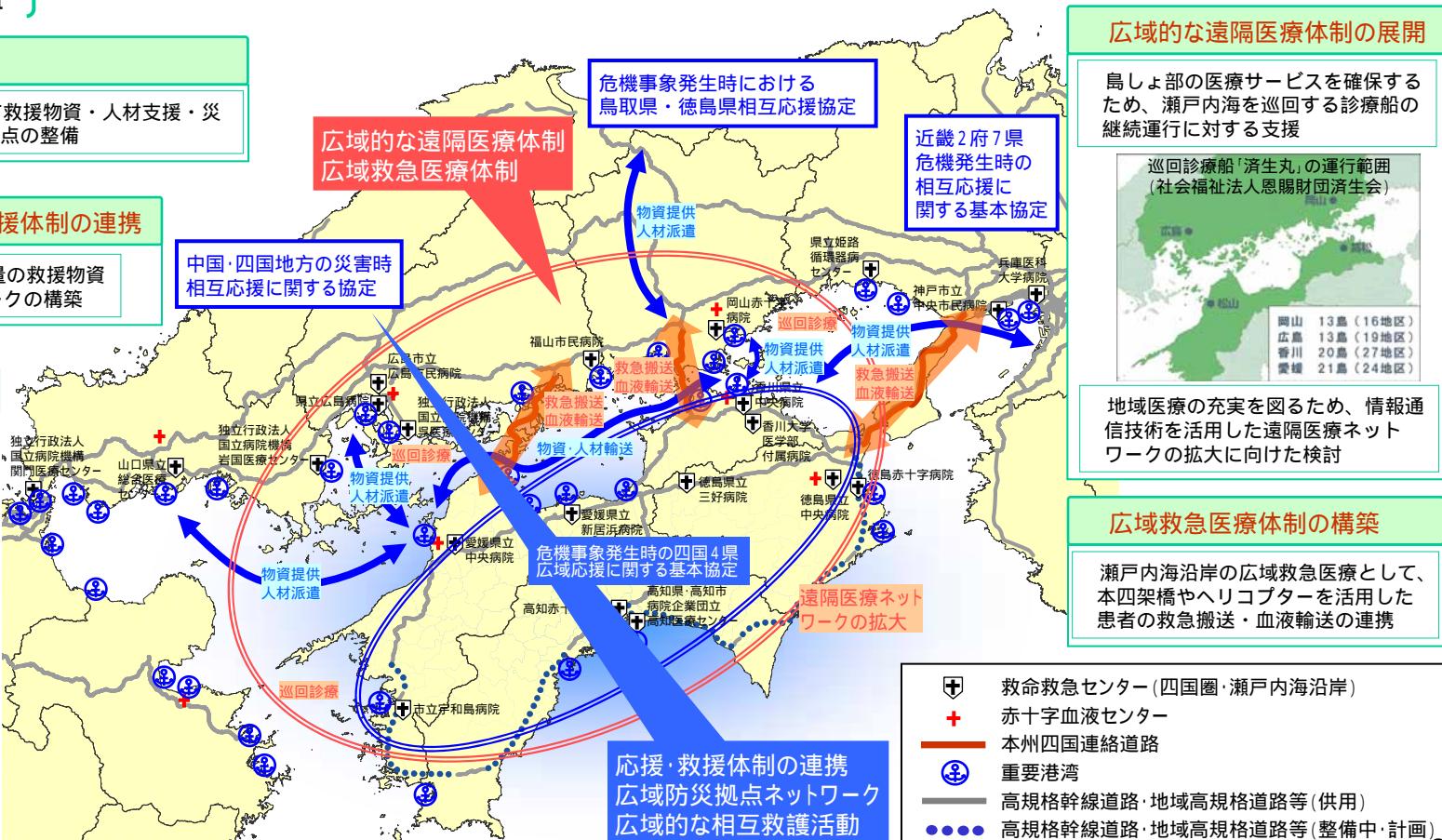
広域的な相互救援活動の円滑化

他圏域との連携による広域防災情報システムネットワークの構築

相互応援協定を踏まえ、関係機関との連携による広域的な防災訓練の実施



相互応援協定を踏まえ、防災対応のノウハウを備えた専門的な人材育成等の共同実施



救命救急センター(四国圏・瀬戸内海沿岸)

赤十字血液センター

本州四国連絡道路

重要港湾

高規格幹線道路・地域高規格道路等(供用)

高規格幹線道路・地域高規格道路等(整備中・計画)

広域交通ネットワークの連携促進

背景・他圏域との連携の方針

本四架橋や高速道路の一層の利用拡大

四国圏は、これまで交通アクセスや時間コストは不利な状況であったが、本四架橋の整備や高速道路整備の急速な進捗により多様な交流が進展し、一層の利用拡大が求められている。

東アジアの活力を取り込んだ国際競争力の向上

東アジアの急激な経済成長のダイナミズムを四国圏の活力に取り込むことが求められており、四国圏の国際競争力を高める上で、港湾物流の効率化や国際物流に対応した物流環境の整備、圏域内の道路交通ネットワークの充実が課題である。

観光交流の拡大や物流の効率化、産業交流の新たな展開等による四国圏の成長力の強化に向けて、本四架橋の利用拡大による地域活性化を図る。

国際交通ネットワークの確立に向けて、圏域内外の主要港湾・空港との役割分担を踏まえた物流基盤の整備や、太平洋から日本海までの南北軸の強化による交流の新たな展開・拡大を図る。

他圏域との連携による取組

港湾物流の効率化に対応した物流基盤の整備

大型船舶等に対応した多目的国際ターミナルの整備推進



フェリー等を活用したモーダルシフト施策の実施等によるグリーン物流の実現

備讃瀬戸航路や来島海峡航路における航行の監視や安全な航行の援助

海洋環境や航行規制等に配慮した開発保全航路の拡幅や増深等の実施

太平洋側の物流環境の改善

複合一貫輸送ターミナル等の整備推進

コンテナ貨物等の輸送に対応したアクセス道路等の整備推進

